

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム さくら

作成日: 令和 3 年 3 月 3 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	ホームからの報告が中心の会議となっている。参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討し取り組んでいく。	薬剤師や歯科衛生士、公民館館長、元家族、他グループホーム管理者等、参加委員を増員し、薬や口腔ケア等についてのミニ勉強会を行ったり、地域の困り事の解決に向けて話し合い、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	職員の介護技術に差があるので、利用者と同じサービスの提供が出来るように、介護計画の内容を職員間で検討し、利用者の満足に繋げていく。	職員の経験や、やる気に合わせて、外部の研修会に交代で参加し伝達研修で職員全員に周知して、知識の習得や介護技術の向上を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。